

第3次西尾市男女共同参画プラン（案）に対する回答

No.	いただいた意見	市の考え方
1	9 ページ目 (2)労働の状況 について 「いわゆる M 字カーブ※の谷は解消されていません。」とありますが、西尾市は M 字カーブの谷の解消を目的としているのでしょうか。. 「誰もが安心・安全に暮らせるまちをつくります」と掲げているのであれば、M 字カーブの谷があることを問題視するということは、 「出産・育児をしたい女性」の希望を尊重していないこととなります。. 子供を産み、母乳を与えることができるのは 20～30 歳代を中心とした女性です。日本社会における重要な役割です。 「労働よりも、出産・育児をしたい女性」の希望を軽視し、労働へと駆り立てている状態になっていないでしょうか。 「出産・育児をしたい女性の希望」「働きたい女性の希望」それぞれの女性の希望が満たされているかという観点でのアンケートの実施や問題意識を持って取り組んでいただきたいと思います。決して、M 字カーブの谷の解消を目的としないでください。	ご意見にありましたように、M 字カーブの谷の解消を目的としているものではなく、M 字カーブを描く背景を考える必要がありますので、「35～39 歳と比べて労働力が低いため、いわゆる M 字カーブ※の谷は解消されていません。」は、「35～39 歳と比べて労働力が低い（いわゆる M 字カーブ※）状況です。」に変更します。
2	15 ページ目 (1)市民意識調査結果 ❶ 固定的性別役割分担意識について 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という固定的性別役割分担意識を人に押し付けるようなことをしてはいけませんが、子供を産み育てることの価値、それが国を作っていくという女性に対する感謝を持つことは必要です。	固定的性別役割分担意識により、性別の違いで役割を決めつける見方や考え方をすることのないよう、一人ひとりが自分らしく生きられる社会を目指しております。 ご意見として承りました。

	適齢期の女性が子供を産み育てることは価値があり、人生を豊かにすることだという価値観を排除するような設問に感じます。 私は、出産適齢期の女性ですが、この男女共同参画という考え方で、いい学校に行っていっていい会社に入ってお金を稼いで納税しないと人間としてダメなんだと刷り込まれてきたように感じています。 学校を出てすぐに結婚して子供を産むなんていうことは社会的貢献の少ない女性なんだ、そういう人たちは生産性が低いというような風潮を生まないような動きをしてください。	
3	18 ページ⑤ LGBTQ 等について。 L G B T Qについて、「市民に対する理解促進を図る」という項目があり、 41 ページ 性的少数者に対する理解を深めるための啓発やA L L Yの取組みを推進とありますが、このA L L Yの取組みを推進する上で、どれくらいの予算を使う予定でしょうか。 性的少数者が直面している問題を理解することや差別することは許されないという認識を持つことは大切なことです。 しかし、価値観の押し付けに対する懸念や性犯罪の増加に対する不安、スポーツ界におけるジェンダー問題など諸外国が直面してきた社会的混乱が広がる懸念があります。 それにより、これまで市が理解促進を図らなくても平穏に暮らしてきた性的少数者の方々が逆に不安に感じたり、かえって社会に分断が生じる懸念もあります。 当事者団体からも「これまで生活者の立場で医療機関や金融機関、行政から差別を受けたことはない」「LGBT 活動家は当事者の代表ではない」といった本当のマイノリティの言葉がかき消されるような報道	L G B T Q等について、 アンケート結果にもありますように、性的少数者に対する理解促進を図ることは重要であると考えており、引き続き、A L L Yの取組みを推進してまいります。また、推進するための予算については決まっています。 ご意見として承りました。

もあります。. 学校教育においては、アイデンティティの確率のしていない児童、生徒の発達の段階に応じた指導が行われることが確保され、保護者や住民の理解が進まない段階でいき過ぎた性教育が教育現場において実施されることがないようにしてください。 海外では、トランスジェンダーの人たちのために医療を発展させ、ホルモン剤を打つこと、医療機器、手術を進める製薬・薬剤の団体が情緒不安定の若者を教育によってトランスジェンダーを増やして治療を受けるべきと促している可能性が非常に高いです。親の承認はもらえない、あなた方の権利だと親子の分断を図るようなことが行われている可能性が非常に高く、そうした動きが背景にあるかもしれないという危険性についても本市の中で周知をお願い致します。 元 FBI 捜査官のクレオン・スクーレン氏が 1958 年に書いた「裸の共産主義者」 ザ・ネイキッド・コミュニストという本があります。そこには当時アメリカの共産党が米ソ冷戦に勝利するために掲げていた 45 の活動 目標というものがあります。その中の「26 番 同性愛・墮落・乱交を正常・自然・健康的なものとして紹介する」という項目があります。 共産主義者が先進国での階級闘争によるプロレタリア革命が失敗に終わったこと から文化を主戦場にして定めた戦い方です。 メディアや大学といったところの中間階級層の意識変革を狙い伝統・文化・共同体を否定しことさら少数派の意見を先鋭化させて マジョリティが何も反論できないような全体主義革命を成功させやすい新しい文化土壌や空気を作るために設定されたものと理解をしています。 アメリカではこういった工作がずっと続いていまして、近年ではBlack Lives Matter (ブラック・ライブズ・マター) (BLM) という団体が活動をしてきました。 全米で多くの破壊活動	
--	--

	を行なってきた組織であり 2020 年 5 月末の約半月だけで BLM による暴動・略奪・破壊による保険会社による支払額は 10 億ドルに上ったというデータがあります。この暴力集団 BLM は 3 人の創設者でして、そのうちの 2 人は黒人女性訓練されたマルクス主義者だとはっきり自分たちで述べています。アメリカの ABC ニュースは 2020 年 6 月 21 日付けの記事で「Black Lives Matter の創 設者たちは当初から常に LGBTQ の声を話題の中心に据えてきたという報道もしています。こうした中で、アメリカや欧州では反 LGBTQ 法案が何百本も作られているという事実があります。長い年月をかけてアメリカ社会の文化破壊を進め、暴動や破壊を伴う団体を作り上げてきました。そして日本でも 45 の活動目標が形になってきており、LGBT 法 案が不自然な形で通過いたしました。こういった事実や歴史的背景を美辞麗句の裏にある強い政治的思惑に警戒心を持っています。こうした事実も合わせて市民に周知をお願い致します。また、海外の過激な団体とつながる日本の団体に新たな資金源を与えることがないようにしてください。	
--	--	--

4	「男女の自立」とは、男女がお互いを尊重し、一人ひとりが経済的、生活的、精神的に自立した豊かな生活を営むことです。 とありますが、女性が自分の意思で働きたい場合は良いですが、夫の収入では困窮するからという理由から女性が働くという選択をせざるを得ない経済状況になっていると感じます。 「男女共同参画」を掲げ、女性を労働へと駆り立て、「自立」という言葉で扶養を受けることを生産性が低いというような風潮を生まないような動きをしてください。 また、いき過ぎた男女共同参画によって、男系による皇位継承を定める皇室存続の危機につながるのではないかという不安があります	ご意見として承りました。
5	36 ページ 女性と語るまちづくりトーク等を開催し、政策・方針決定過程において女性の意見や要望を活用します。 とありますが、女性市民の選考基準がなく、一方的に決められ、恣意的だと感じます。 選考方法をオープンにし、市政にとって都合の良いテーマを扱う人選をしていませんか。	女性と語るまちづくりトーク等の参加者については、広報、LINEなどで広く募集をしています。また、年代、地区、懇談テーマのバランスを考慮し、参加者を決定しています。市政にとって都合の良いテーマを扱う人を優先するような人選はしておりませんので、ご理解ください。

6	43～44 ページ. (4) 仕事と家庭生活の両立に向けた支援 . 25～44 歳の女性の労働力率〔地域つながり課〕 73.8% (2020) 82.0% 85.0% 家事・育児・介護に関わらない男性の割合 〔地域つながり課〕 20.6% (2022) 15.0% 10.0% とありますが、「男女共同参画」を掲げ、女性を労働へと駆り立て るような取り組みはしないでください。 男性も、家事・育児・介護をしたい男性と、働きたい男性といます。 それぞれの家庭や個人が決めることであって西尾市の地域つなが り課が目標を掲げる内容ではない。 この数値目標はどのように決めたのでしょうか。市民から、西尾市 に対して 25～44 歳の女性の労働力率を上げ、家事・育児・介護に関 わらない男性を減らしてくださいという声が上がっているのですか。	目標数値については、過去の動向、アンケート結果から設定をして おります。 女性を労働へと駆り立てているわけではなく、性別に関係なく、お 互いの意思を尊重した形で一人ひとりが自分らしく生きられる社会 を目指します。
---	--	--

7	48 ページ 数値目標について、 乳がん検診受診率〔健康課〕 8.1% (2022) 9.1% 10.1% 子宮がん検診受診率〔健康課〕 8.5% (2022) 9.5% 10.5% 大腸がん検診受診率〔健康課〕 7.7% (2022) 8.7% 9.7% と目標が掲げられていますが、医療技術が進歩して早期発見、早期治療が叫ばれている今、健康になるのではなく、逆に病人が増えています。 そもそも、病気を発症しない身体を作る、予防医学から食生活とがんという観点で予防医療医師による講演や市民への指導の機会も作ってください。	心身の健康のために主体的に正しい知識や情報を入手することは、生涯を通じた健康保持・増進には欠かせないものです。病気になりにくい体作りは重要であると考えており、本市では、『市民講座』、『出前講座』、『健康にしおマイレージ』など健康づくりや生活習慣病予防の取組を行っていますが、今後さらなる取り組みを検討してまいります。
8	50 ページ 2 市民と行政との連携体制の整備 (1)「にしお男女共同参画市民会議」の開催とありますが、こちらの会議の周知は現在どのようにされていますか。LINE 等での配信で周知をお願い致します。	会議の周知につきましては、西尾市審議会等の会議の公開に関する要綱に基づき、市のホームページへの掲載及び地域つながり課での閲覧をしておりますので、LINE 等での配信の予定はありません。